

メキシコにおける地震災害に対する国際消防救助隊の派遣について

平成29年9月20日（水）3時14分頃（現地時間19日13時14分頃）にメキシコ合衆国の首都メキシコシティから南東約120kmの地域で、マグニチュード7.1の強い地震が発生し、同国政府からの要請を受けた外務省からの派遣協議を受け、消防庁長官が国際消防救助隊（17名）の派遣を決定しました。

国際消防救助隊は、21日に成田国際空港にて結団式を行った後、出発し、22日に首都メキシコシティに到着しました。

○ 派遣隊の編成

国際緊急援助隊・救助チーム 72名

（消防・警察・海上保安庁・外務省・JICA等により構成）

うち国際消防救助隊（International Rescue Team of Japan Fire-Service） 17名

消防庁（国際緊急援助隊救助チーム副団長） 1名

東京消防庁 6名 仙台市消防局 3名

京都市消防局 3名 豊中市消防局 1名

和歌山市消防局 1名 高知市消防局 1名

朝霞地区一部事務組合埼玉県南西部消防本部 1名

○ 国際消防救助隊結団式（平成29年9月21日 成田空港）



野田大臣からのメッセージ※を代読する上村参事官（中央）

※ 国際消防救助隊結団式での野田総務大臣メッセージ

平成29年9月21日

昨日、午前3時14分頃（現地時間一昨日13時14分頃）、メキシコ合衆国でマグニチュード7.1の強い地震が発生し、一部報道によるとこれまでに、200人を超える方々がお亡くなりになるなど、甚大な被害を受けたと伺っております。

国際消防救助隊の皆様には、この甚大な被害を受けたメキシコ合衆国政府からの要請を受け、本日ここに集結して頂き、救助活動に当たって頂くことになりました。

消防に国境はありません。被災地は非常に厳しい環境であろうかと思いますが、被災地の方々のために我が国の高い救助技術を十分に発揮して、皆様の『愛ある手』で、一人でも多くの方を救出していただくよう、よろしくお願いします。

結びに、皆様が任務を立派に果たされ、無事、日本に帰国されることを御祈念申し上げます。よろしくお願いいたします。

○ 活動の様子



<画像提供>JICA

○ 国際消防救助隊解隊式（平成 29 年 9 月 28 日 成田空港）



※ 国際消防救助隊解隊式での野田総務大臣メッセージ

平成 29 年 9 月 28 日

国際消防救助隊としてメキシコにおける地震災害に派遣された、鈴木総括官、木下隊長以下 17 名の隊員の皆様、本当にお疲れ様でした。

今回の派遣では、余震や豪雨といった大変厳しい環境の中での捜索・救助活動となりましたが、皆様の献身的な活動については、メキシコ側から高い評価と謝意が表明されております。日本においても連日大きく報道され、その活動ぶりを見るにつけ、私自身もたいへん心強く感じました。そして、国際消防救助隊が国際緊急援助隊の中核となって活動されたことを総務大臣として誇りに思います。

ご家族の方や派遣元の消防本部におかれても、皆様の連日のご活動を誇りに思いながらも、さぞかし心配されたことと思います。私も、皆様が全員ご無事で帰国されたことに安堵しております。

皆様におかれましては、今回の経験をそれぞれの職場での活動に活かし、今後も人命救助という困難かつ崇高な任務を全うしていただきたいと思います。

隊員の皆様、本当にありがとうございました。